

【認知症の支援について】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
7	認知症の利用者へのケアで特に力を入れていること	認知症の利用者へのケアについて施設として特に力を入れていること 1. 原因疾患の特徴や日常生活の中で留意すべき点を考慮したケア 2. 中核症状に応じた暮らしの難しさや困っていることに配慮したケア 3. 本人のできることに、できないことに応じて自立を促すケア 4. 日々の変化、症状の進行に応じた臨機応変なケア 5. 入所前の生活習慣やこだわりを大切にされたケア 6. 本人が行きたい場所に行けるように配慮したケア 7. 本人の好みに応じて楽しく食事ができる工夫をしたケア 8. 本人が会いたい人に会いに行けるように配慮したケア 9. 訴える背景や理由に応じた本人のニーズに応えるケア 10. 本人の意思を汲み取ることに配慮したケア 11. 最後まで看取ることを見据えたケア 12. 家族の介護負担を軽減するケア 13. その他〔具体的に：			問14	

【高齢者の虐待について】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
1	高齢者虐待の可能性のある方を把握しているか	高齢者虐待の可能性のある方を把握しているか 1. ほぼ把握している 2. 十分には把握できていない 3. ほとんど把握していない	問21	問21		
2	高齢者虐待の要因	高齢者虐待の要因は、何だと思うか 1. 高齢者本人の認知症による言動の混乱 2. 高齢者本人の身体的自立度の低下 3. 高齢者本人の性格や人格 4. 高齢者本人の嗜好・癖等（アルコール等） 5. 虐待をしている人の性格や人格 6. 虐待をしている人の障害・疾患・依存等 7. 介護に対する家族等周囲の無理解、非協力 8. 介護をしている人の介護疲れ 9. 介護に関する知識・情報の不足 10. 高齢者と虐待者とのこれまでの人間関係 11. 経済的困窮 12. 介護サービスの不適合 13. その他〔具体的に：	問22	問22		
3	高齢者虐待を防止する取り組みをしているか	高齢者虐待を防止する取り組みをしているか 1. はい 2. いいえ			問18	
4	具体的な取り組み内容	具体的な取り組み内容			付問18-1	

【地域包括ケアシステムに向けた医療と介護の連携について】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
1	医療機関との連携にあたって、行っていること	医療機関との連携にあたって、行っていることは何か 1. サービス担当者会議の開催 2. 書面等による、在宅療養者に関する情報の共有 3. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有 4. 緊急時の対処方法に関する医療機関との取り決め 5. 医療機関との交流の場（研修会など）への参加 6. その他〔具体的に： 〕 7. 上記のような連携は行っていない	問23	問24	問19	
2	上記の理由	その理由 1. 医療関係者の介護保険や福祉に関する知識や理解が不足している 2. 医学知識や医療の制度がわからない 3. お互いに多忙で連絡がとれない 4. 医療関係者との交流の機会がない 5. 連携方法がわからない 6. 連携の重要性をあまり感じない 7. その他〔具体的に： 〕	付問23-1	付問24-1	付問19-1	
3	2025年に向けて医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思うか	医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思うか 1. 訪問看護ステーションを更に充実させる 2. 医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる 3. 医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる 4. 医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる 5. 区内の医療機関や介護関係者への連絡可能時間を記した連絡先リストを整備する 6. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する 7. 医療と介護の連携マニュアルを作成する 8. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する 9. 多職種連携強化のための研修を充実させる 10. おとしより相談センター（地域包括支援センター）などの身近な相談窓口の充実 11. その他〔具体的に： 〕	問24	問25	問22	問28
4	在宅療養に対する医療や介護のあり方、その他医療・介護保険制度等を含め、医療と介護の連携についての意見、要望	在宅療養に対する医療や介護のあり方、その他医療・介護保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見、ご要望	問25	問26	問23	問29
5	サービス担当者会議に参加しているか	事業所の職員は、サービス担当者会議に参加しているか 1. 参加している 2. 参加していない		問23		
6	参加していない理由	参加していない理由 1. ケアマネジャー（介護支援専門員）等に、書類で報告しているため 2. 人数が不足しており参加が困難なため 3. 時間調整が困難なため 4. 参加を要請されないため 5. その他〔具体的に： 〕		付問23-1		
7	施設運営の課題	施設運営の課題についてご意見			問21	
8	関係機関、職種との連携状況	現在、関わっているサービス利用者の情報などについて、次の関係機関、職種との連携状況 ①病院 ②サービス利用者のかかりつけ医 ③サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師 ④歯科医師 ⑤薬剤師 ⑥病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー） ⑦おとしより相談センター（地域包括支援センター） ⑧訪問看護ステーション ⑨訪問・通所リハビリテーション ⑩介護支援専門員（ケアマネジャー） ⑪訪問介護 ⑫通所介護（デイサービス） ⑬短期入所生活介護（ショートステイ） ⑭福祉用具貸与・販売事業者				問24

【地域包括ケアシステムに向けた医療と介護の連携について】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
9	介護サービス事業者との連携について行っていること	介護サービス事業者との連携について、次のようなことを行っているか 1. サービス担当者会議への参加 2. 書面等による、在宅療養者に関する情報の共有 3. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有 4. 介護サービス事業者との定期的な情報交換 5. 緊急時の対処方法に関する介護サービス事業者との取り決め 6. その他〔具体的に： 〕 7. 上記のような連携は行っていない				問25
10	上記理由	その理由 1. 介護サービス事業者の医療に関する知識や理解が不足している 2. 介護保険などの福祉の制度がわからない 3. お互いに多忙で連絡がとれない 4. 介護保険サービス事業者との交流の機会がない 5. 連携方法がわからない 6. 連携の重要性をあまり感じない 7. その他〔具体的に： 〕				付問25-1
11	ケアマネジャーとの連携での課題	ケアマネジャー（介護支援専門員）との連携で課題があるか 1. ある 2. ない				問26
12	課題の内容	課題と感じていること				付問26-1
13	おとしより相談センターとの連携での課題	おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携で課題があるか 1. ある 2. ない				問27
14	課題の内容	課題と感じていること				付問27-1

【災害時の対応について】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
1	地震などの災害においてのマニュアルの有無	地震などの災害が発生した時の対処方法に関して、発生直後の対応、サービスの早期再開や継続的なサービス提供のためのマニュアル等を定めているか 1. 定めている 2. 定めていないが、今後定める予定である 3. 定めておらず、今後も定める予定はない	問26	問27	問24	
2	貴事業所では、地震などの災害が発生した時の避難や安否確認に関する訓練を実施していますか	地震などの災害が発生した時の避難や安否確認に関する訓練を実施しているか 1. 事業所で訓練を行っている 2. 地域の防災訓練に参加している 3. 行っていない	問27	問28	問25	
3	利用者が、災害への備えを行っているか把握しているか	事業所の利用者が、災害への備えとして水・食料・簡易トイレの備蓄等を行っているか把握しているか 1. 把握している 2. 把握していない	問28	問29	問26	
4	災害時の備えとしてどの程度、地域と連携しているか	災害時の備えとしてどの程度、地域と連携しているか 1. 日頃から施設公開などをして地域との交流に努めている 2. 町会・自治会等の防災訓練に参加している 3. 町会・自治会等と防災協定を結んでいる 4. 地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している 5. その他〔具体的に：〕	問29	問30	問27	
5	大規模災害が発生した時の対処方法についての課題	大規模災害が発生した時の対処方法についての課題	問30	問31	問28	

【医師向け】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
1	訪問看護ステーションとの連携での課題	訪問看護ステーションとの連携で課題があるか 1. ある 2. ない				問12
2	上記理由	その理由 1. どこに訪問看護ステーションがあるのか情報が無い 2. 訪問看護ステーションが提供できる看護情報等の情報が不足しているため指示が出せない 3. 依頼をしたが、訪問看護を断られた 4. 自分の専門領域以外の依頼があり、指示が出せないことがある 5. その他〔具体的に： 〕				付問12-1
3	薬局との連携での課題	薬局との連携で課題があるか 1. ある 2. ない				問13
4	上記理由	その理由 1. どこに在宅医療に対応できる薬局があるのか情報が無い 2. 薬局に関する情報が不足しているため指示が出せない 3. 依頼をしたが薬を備蓄していない、夜間に対応が難しいなどで断られた 4. その他〔具体的に： 〕				付問13-1
5	在宅療養支援診療所の届出の有無	在宅療養支援診療所の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問16

【歯科医師向け】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護支援事業者	居宅サービス事業者	施設サービス事業者	医療機関
1	訪問歯科診療の実施有無	訪問歯科診療を行っているか 1. 行っている 2. 行っていない				問17
2	過去1年間の訪問歯科診療を行った患者数	過去1年間（平成27年11月から28年10月まで）に訪問歯科診療を行った患者数は何人程度か 1. 0人 2. 1～5人 3. 6～10人 4. 11～20人 5. 21～30人 6. 31～40人 7. 41～50人 8. 51～100人 9. 101人以上				付問17-1
3	訪問先	訪問先はどこか 1. 自宅 2. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 3. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） 4. 有料老人ホーム 5. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他〔 〕				付問17-2
4	居宅療養管理指導の実施有無	居宅療養管理指導を実施しているか 1. 実施している 2. 実施していない				付問17-3
5	実施者	誰が実施しているか 1. 歯科医師による 2. 歯科衛生士による 3. 歯科医師及び歯科衛生士による				付問17-4
6	訪問歯科診療の患者の紹介元	訪問歯科診療は、だれ（どこ）から紹介されているか 1. 以前からのかかりつけ歯科医師 2. 地区歯科医師会 3. おとしより相談センター（地域包括支援センター） 4. 主治医（かかりつけ医） 5. 大学病院・口腔保健センター等 6. ケアマネジャー（居宅介護支援事業所） 7. 訪問介護サービス事業所 8. 訪問看護ステーション 9. 本人または家族 10. その他〔具体的に： 〕				付問17-5
7	在宅療養支援歯科診療所の届出の有無	在宅療養支援歯科診療所の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問18
8	訪問歯科診療の実施の可否	今後、依頼があった場合に訪問歯科診療の実施は可能か 1. 依頼があれば、訪問する 2. 訪問するが、治療内容によっては通院して欲しい 3. 訪問はできない 4. その他〔具体的に： 〕				問19
9	訪問歯科診療ができない理由	訪問歯科診療ができない理由 1. 時間がない 2. 実施するためのスタッフがいない 3. 患者からのニーズがない 4. 採算がとれない 5. 主治医との連携に不安がある 6. 器具・設備がない 7. 自由診療・矯正専門のため 8. 高齢・体力不足など身体的理由 9. その他〔具体的に： 〕				付問19-1
10	在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出の有無	在宅かかりつけ歯科診療所加算の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問20

【薬剤師向け】

No.	何を質問するのか	具体的な設問	調査F1	調査F2	調査F3	調査G
			居宅介護 支援事業 者	居宅サー ビス事業 者	施設サー ビス事業 者	医療機関
1	在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出の有無	在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問21
2	在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の利用の利用者の有無、および直近の利用者数	薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している方はいるか、過去1年間（平成30年●月から令和元年●月まで）で利用された方は何人か 1. いる 利用人数（実人数）：〔 〕人 2. いない				付問21-1
3	訪問先	訪問先はどこか 1. 自宅 2. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 3. 軽費老人ホーム（ケアハウス） 4. 有料老人ホーム 5. サービス付き高齢者向け住宅 6. その他〔具体的に： 〕				付問21-2
4	医師との連携の方法	医師との連携はどのようにしているか 1. 診療情報の提供がある 2. 医師を訪問している 3. 電話やメールなどでやりとりしている 4. サービス担当者会議に参加している 5. 処方せんのやり取りのみ 6. その他〔具体的に： 〕				付問21-3
5	在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていない理由	在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていない理由 1. 時間がない 2. 実施するためのスタッフがいない 3. 患者からのニーズがない 4. 採算がとれない 5. 主治医との連携に不安がある 6. 器具・設備がない 7. 高年齢・体力不足など身体的理由 8. その他〔具体的に： 〕				付問21-4
6	健康サポート薬局の届出の有無	健康サポート薬局の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問22
7	在宅患者調剤加算の届出の有無	在宅患者調剤加算の届出を行っているか 1. 行っている 2. 今後3年以内に届出を行う予定 3. 検討中 4. 行っていない				問23